## 溢水による損傷防止など



## 機器室貫通部からの浸水防止(シール性向上)対策

配管などの建屋貫通部について、隙間に止水材を追加し押え板を設置すること により、防水性能の向上を図ります。 また、空調開口部について、水圧に耐えることができるよう材質を亜鉛鉄板か

。 よた、空調開口部について、水圧に耐えることかできるよう材質を亜鉛鉄板から鋼板へ変更します。



配管貫通部 (屋内)の例











